

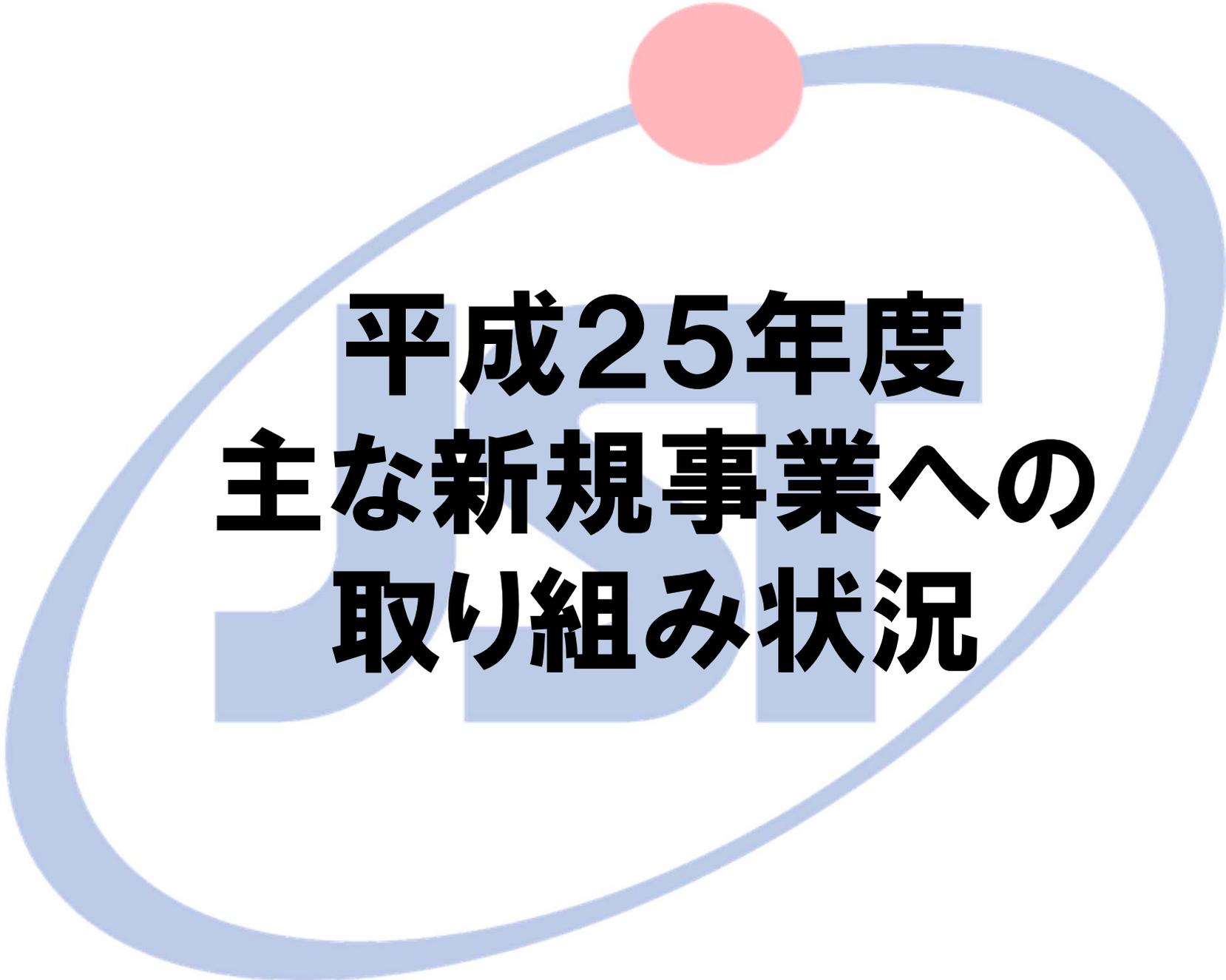


JST 理事長 記者説明会

平成26年3月26日

独立行政法人 科学技術振興機構

本資料に掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。

The background features a large, stylized graphic of the JST logo. It consists of a light blue, rounded rectangular shape with a red circle at the top center, resembling an orbit or a stylized 'JST' monogram. The text is centered within this graphic.

平成25年度 主な新規事業への 取り組み状況

再生医療実現拠点ネットワークプログラム

事業概要

- 国際競争が激化しているiPS細胞等を使った再生医療・創薬について、我が国のアドバンテージを活かし、世界に先駆けて臨床応用をするべく研究開発を加速。
- 具体的には、**再生医療用iPS細胞ストックの構築、疾患・組織別に再生医療の実現を目指す研究の推進、及びiPS細胞を用いた難病解明や創薬研究の推進**等を実施。

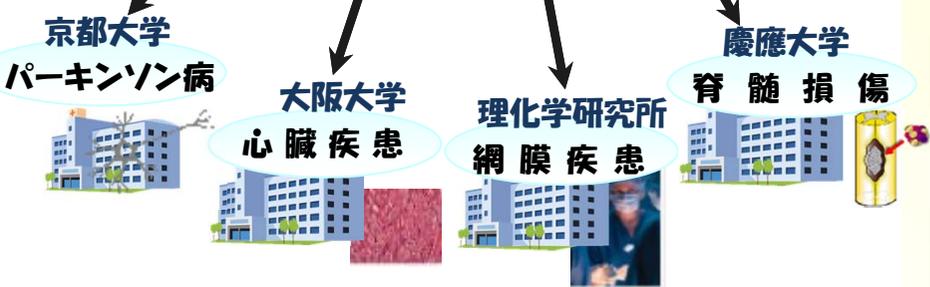
京都大学iPS細胞研究所

世界最高水準の基礎研究能力を最大限に活かし、安全かつ標準的な再生医療用iPS細胞を確立

再生医療用iPS細胞
ストックの整備



- 分化細胞の安全性、品質評価システムの構築
- 効果的・効率的に再生医療を実施するための技術開発



全47研究課題を推進中!

平成25年度の成果例

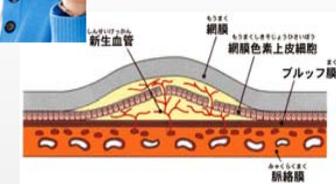
平成25年度予算額
8,993百万円

臨床研究を開始

「iPS細胞を用いた初の臨床研究実施へ」



ネイチャー誌
「Five to Watch
in 2014」



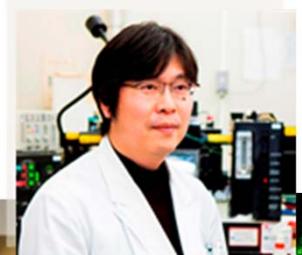
滲出型加齢黄斑変性[wet type: 血管新生型]

理化学研究所
高橋政代プロジェクトリーダー

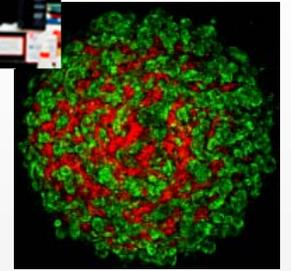
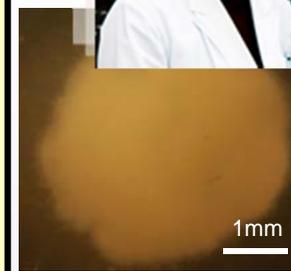
「体性幹細胞を用いた臨床研究を開始」
京都府立医大・木下茂教授(角膜)
東京医科歯科大・関矢一郎教授(半月板)

臨床研究に向けた研究

「肝臓の「タネ」の作製に成功」



サイエンス誌
「Breakthrough
of the Year
2013」



横浜市立大学・谷口英樹教授
(H25.7.4、H26.1.27)
(※JST S-イノベーションによる成果)

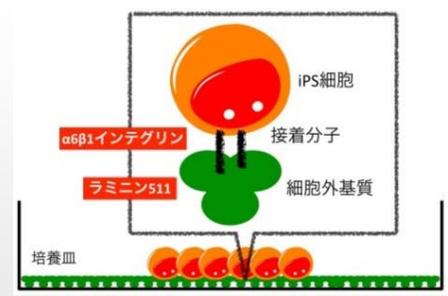
慶應義塾大学・福田恵一教授(H26.2.6)
「iPS細胞の大量培養培地を開発」
京都大学・江藤浩之教授(H26.2.14)
「輸血用血小板の大量作製技術を開発」
京都大学・高橋淳教授(H26.3.7)
「パーキンソン病治療用神経前駆細胞の作製方法を確立」

iPS細胞を用いた創薬・難病研究

京都大学・戸口田淳也教授 (H25.12.25)
「進行性骨化性線維異形成症の病態を再現」

再生医療用iPS細胞ストックの整備

「新しい樹立・維持培養法を確立」



京都大学・中川誠人講師 (H26.1.8)

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

事業の概要

研究成果展開事業

10年後、どのように社会が変わるのか、人が変わるのか、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発を支援します。



本プログラムは、文部科学省の施策である「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」に包摂され同事業と一体的に運用を行います。

10年後の社会ビジョン

人が変わる

ビジョン1 少子高齢化先進国としての持続性確保
Smart Life Care, Ageless Society

ビジョン2 豊かな生活環境の構築 (繁栄し、
尊敬される国へ) Smart Japan

社会が変わる

ビジョン3 活気ある持続可能な(Active
Sustainability)社会の構築

The Center of Innovation (COI) Program

次々と
イノベーションを
創出

バックキャスト

異分野融合・連携型
研究開発テーマ

COI拠点

研究推進機構

拠点の戦略立案、運営面のヘッドクォーター
プロジェクトリーダー(企業経験者)、研究リーダー



大規模産学連携拠点(COI)(最長9年度)

<期間>
最長9年度

<研究開発費>
1拠点あたり、
年間1~10億円程度
(間接経費含む)
※原則、委託先は
大学等を想定

JST、文部科学省からの支援と企業からのリソース提供による運営

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

平成25年度における主な取り組み

- 1 COI拠点の提案募集 ▶▶ 12のCOI拠点および14のトライアル課題を決定!
- 2 COIキックオフシンポジウムの開催 ▶▶ COIが目指す「未来の生活」、「将来社会」の実現のため、COI拠点の取り組みや目指すべき10年後の姿等を発表!

1 COI拠点の提案募集

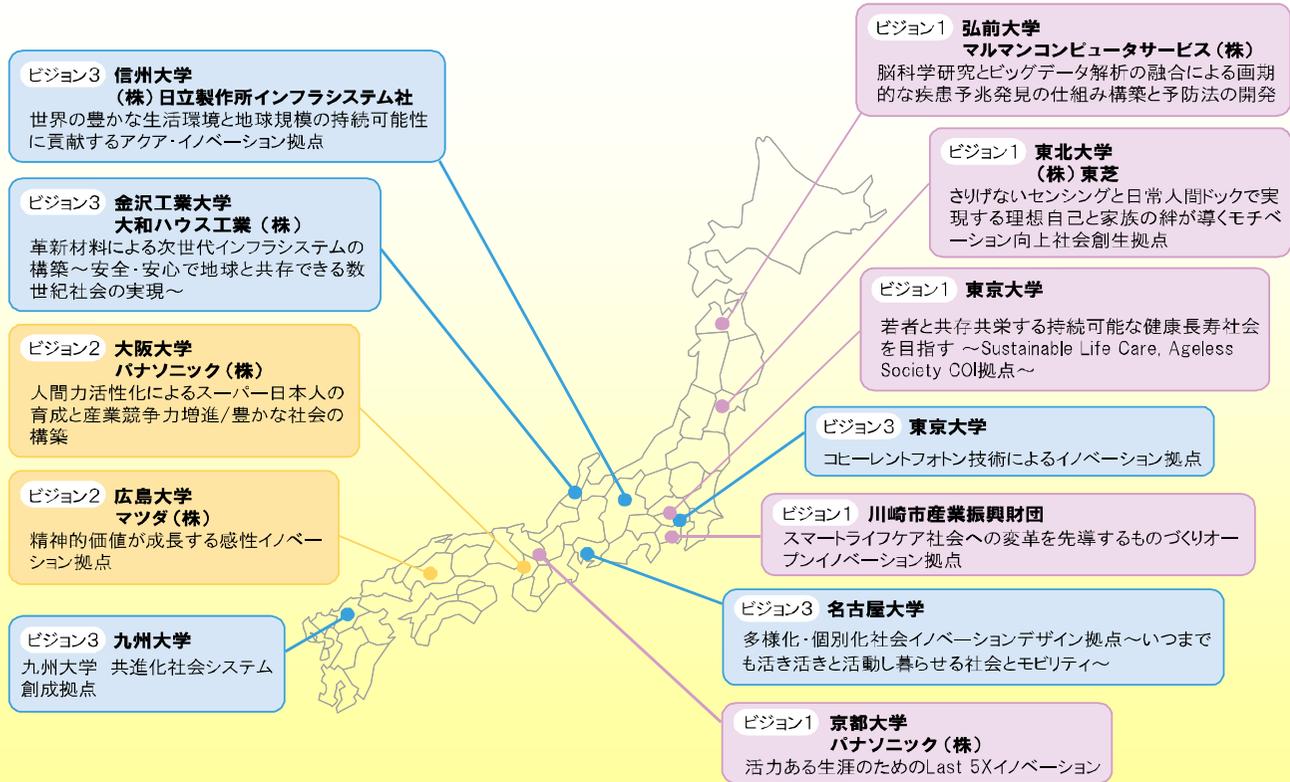
- COI STREAMつ3つのビジョンについて提案を募集(2013/6/11~8/12)。
- 190件の応募(大学158、民間9、独法等23)。
- COI STREAM ガバニング委員会の下、12のCOI拠点および14のITライアル課題を選考。
- 10/30 MEXT/JSTで共同プレス発表。

2 COIキックオフシンポジウムの開催

- 2014/2/24 開催し、全国から約350名参加。
- COI拠点より、目指すべき将来の姿やそのための研究内容について紹介し、COI拠点・トライアル課題によるポスターセッションを実施。



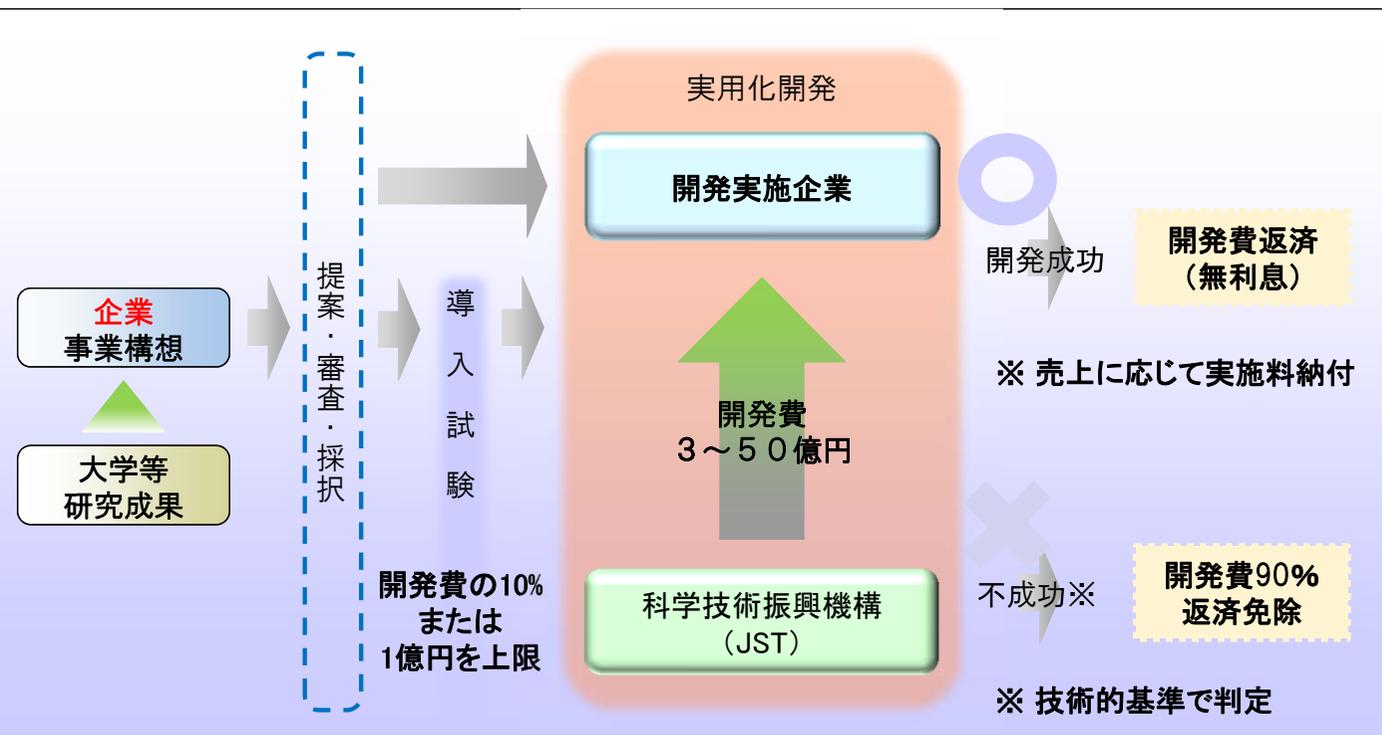
H25年度発足 COI拠点



産学共同実用化開発事業(NexTEP)

【特徴】

- 平成24年度補正予算を財源とし、JSTが長期間実施してきた「委託開発事業」のしくみを大規模に発展させ新たに創設(380億円)。
- 開発リスクを国(JST)が負担することで、企業単独では困難な開発を後押し。
- 導入試験(フィージビリティスタディ)の実施により、効果的に実用化開発を支援。



平成25年度は3回の公募を実施

- 第1回: 申請18件、採択4件
- 第2回: 申請23件、採択11件(予定)
- 第3回: 申請52件

平成26年度の公募実施 現在準備中(時期は未定)

【採択決定企業】(公表済み企業のみ)

第1回: 太陽日酸株式会社、帝人株式会社、日本ケミコン株式会社、明星電気株式会社

第2回: 東京エレクトロン九州株式会社、大塚化学株式会社、大阪ガスエンジニアリング株式会社、石原産業株式会社、株式会社豊栄商会、田中貴金属工業株式会社、シャープ株式会社、大日精化工業株式会社、エーザイ株式会社

ACCEL(イノベーション指向型研究の加速・深化)

【趣旨】

戦略的創造研究推進事業等で創出された世界をリードする顕著な成果のうち

- 有望なものの、すぐには企業などでリスクの判断が困難な成果を抽出
 - プログラスマネージャー(PM)のイノベーション指向の研究マネジメントにより
 - ・技術的成立性の証明・提示(Proof of Concept :POC)
 - ・適切な権利化まで推進
- 企業やベンチャー、他事業などに研究開発の流れをつなげる。

【研究開発費】(間接経費込み)

年間数千万円～3億円程度

【研究開発期間】

5年以内

【採択件数】

年5件程度

* 公募事業ではありません

【課題】

エレクトライドの物質科学と応用展開

研究代表者 細野 秀雄(東京工業大学教授)

PM 横山 壽治

フォトニック結晶レーザーの高輝度・高出力化

研究代表者 野田 進(京都大学教授)

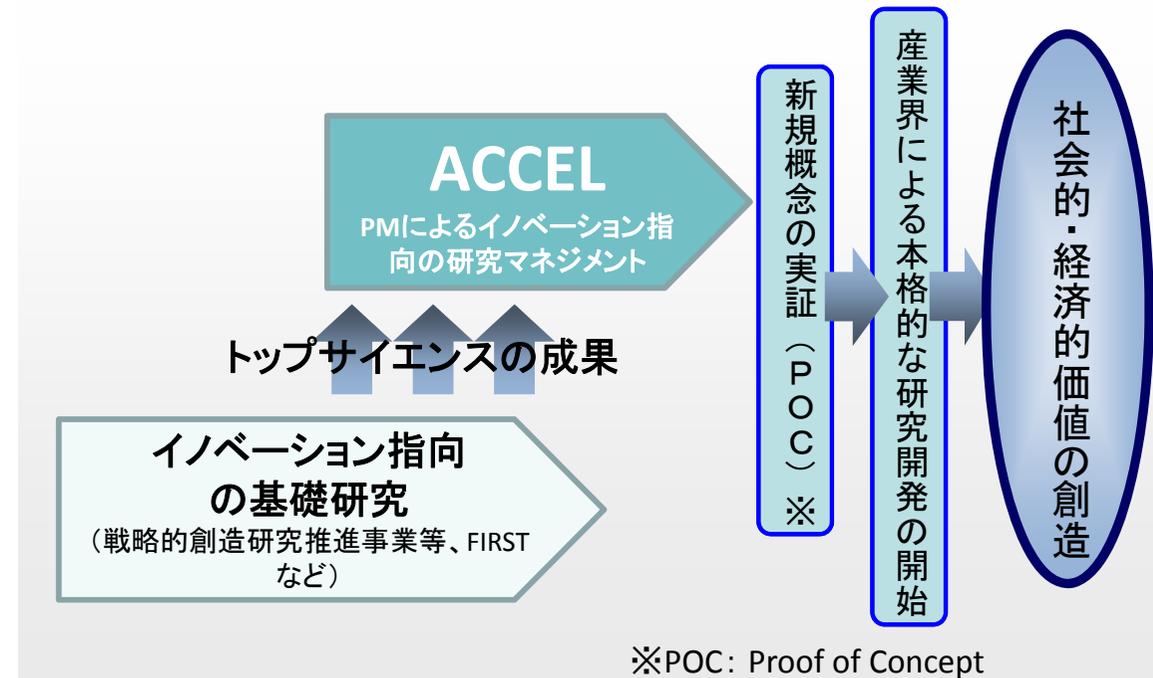
PM 八木 重典

PCPナノ空間による分子制御科学と応用展開

研究代表者 北川 進(京都大学教授)

PM 井上 衛

3/28プレスリリース予定(2課題追加予定)



※POC: Proof of Concept